

第1章 本県における人口を取り巻く現状

1 総人口

- 総人口は2000年にピークに達した後、減少傾向となり、2023年には43年ぶりに80万人を割り込んだ。

2 年齢3区分人口

- 年少人口及び生産年齢人口の減少と老年人口の増加が顕著で、少子高齢化が急速に進んでいる。

3 人口構造

- 1980年から2020年にかけて、若年層が多い「三角形」から高齢者が多い「逆三角形」へと変化した。

4 自然増減と社会増減

- 自然増減は、2003年に「自然減」へ転換した後、減少幅が年々拡大している。
- 社会増減は、特に就職期の若年世代の顕著な転出超過が続いている。

第2章 人口の将来推計

1 人口の将来推計

- 総人口を3パターンで推計したところ、2100年には、18万人から30万人程度となる。

【推計条件】

パターン①：社人研推計準拠型シナリオ

2050年までの社人研推計に準拠し、各指標がその後も一定で推移すると仮定して推計

パターン②：現状延長型シナリオ

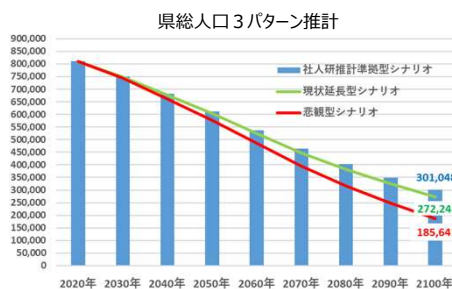
現在の合計特殊出生率が今後も一定で推移すると仮定して推計

パターン③：悲観型シナリオ

直近の下落率(3%程度)が続くと仮定し、以降も低下が長期的に積み重なるとして推計

2 推計による人口構成比

- 高齢化率は、2020年の30.8%から2080年に42.5%まで上昇し、その後は同水準で推移する。



第3章 人口減少が地域の未来に与える影響

人口減少がもたらす“静かな崩壊”

人口減少は単なる統計の変化ではなく、日常生活・地域経済・行政運営に深刻な打撃を与え、社会システムの維持が困難となる「ディストピア」を招きかねない。

このまま何も手を打たなければ、暮らしの選択肢と公共の機能がジワジワと失われ、やがて地域そのものが消えていく危機に直面してしまう。

1 生活の崩壊

- スーパー・コンビニの7割超が閉店、買い物・通学も困難に
- 空き家だらけの街並み、消防や地域行事も消滅寸前

2 産業の崩壊

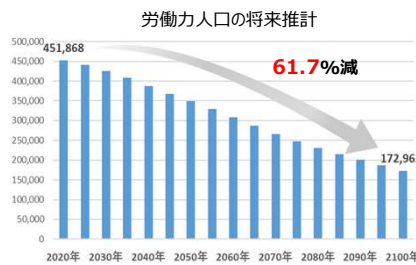
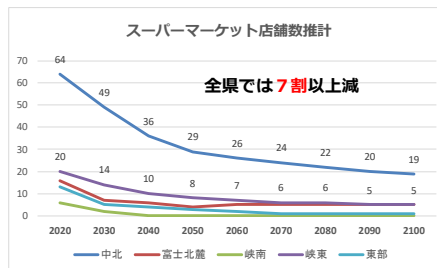
- 果樹やワインなど山梨の誇る産業も後継者難で衰退
- 働く場が失われ、若者の流出と経済の空洞化が進行

3 行政の崩壊

- 税収減と高齢化で財政が逼迫、公共サービスが縮小・停止
- 救急・福祉の人手不足、行政はAI無人化へと代替

4 ディストピアの果てに

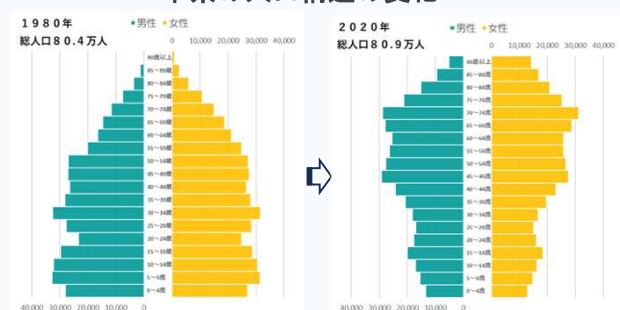
- 医療・交通・買い物などのき、住める地域が限定化
- 墓や神社も放置、「帰るふるさと」が地図から消える



総人口の推移



本県の人口構造の変化



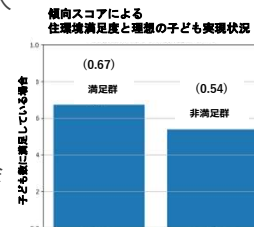
第4章 県民が未来のやまなしへ望む姿

1 県民の声＜県民アンケート調査結果＆ワークショップ・分析結果から＞

- ①「結婚したいけど、将来の暮らしに不安があって踏み出せない」- 正社員のほうが結婚意向は1.6倍高い
- ②「子供は2人以上ほしいが、現実には1.4人」- 第3子出産は経済的・年齢的制約が大きい
- ③「制度はあるのに使えない」- 育児支援制度の利用率は小規模企業で55%にとどまる
- ④「住まいの狭さと物価が壁」- 住環境満足層のほうが理想どりの子どもを実現。

2 紐解かれる「未来のやまなし」～調査から見えるあるべき将来像～

- ①安心できる雇用と多様な働き方が広がり、結婚や子育てに踏み出せる社会
- ②時間・健康に配慮した職場環境が整い、出産とキャリアが両立できる社会
- ③子育て支援制度が企業規模にかかわらず活用され、働き続けることを後押しする社会
- ④ゆとりある住まいと生活環境が整い、「子育てしたい or 暮らしたい」と思える社会



第5章 暮らし続けられる「ふるさと山梨」の将来ビジョン

1 目指すべき将来像

「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を目指して、「ふるさと強靱化（自由な選択の制約要因の除去）」及び「開の国づくり（多彩で豊かな選択肢の提供）」を柱に、県民総参加・総活躍の下で取り組む。

2 「存続する山梨」のビジョン～将来像を描く3つの視点～

- 【地域経済】のすがた
 - 若者が「がんばれば報われる」経済社会が確立
 - 産業に長期的・安定的な成長性がビルトイン
 - 多様な働き方・働く場所の選択肢が充実

【地域社会】のすがた

- 多様性が尊重される共生社会が確立
- 価値観の共存と融合が集合知をもたらすイノベーションな社会に高度化
- 孤独・孤立に悩まない温かいコミュニティが成立

【地域生活】のすがた

- 子育て世代が豊かな生活環境を享受
- 高速交通と地域の公共交通網が充実
- 水素の社会実装の進展と持続可能な地域エネルギーサイクルの確立

3 選択する未来へ

